

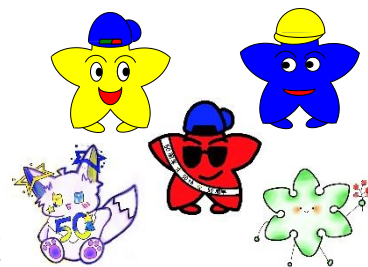
【学校教育目標 自ら創る】



忠別川

【重点】自ら道を切り拓く子

◎見通し、考えを深め、学びを創り出す ◎対話と協働でよりよい解決を目指す ◎失敗から学び、改善し、やり抜く
旭川市立東光小学校令和8年度 学校だより第5号 8月31日（月）



50周年記念キャラクターが仲間入り！

じゃあ、どうする？

校長 加藤 広章

長い夏休みが終わり、玄関で待つ子どもたちの背中からは、夏休みを名残惜しむ感じが漂っていました。一方、夏休み中の食事の用意や宿題の声掛けなど、保護者の皆さんにとっては、「やっと解放された」というのが本音のところではないでしょうか。

「まだまだ夏休みが続いてほしい」と願う子どもたちと、「やっと終わった」とほっとする保護者の皆さん。これほどまでに思いが相反することも、なかなかないのかもしれない。

始業式では、終わった夏休みのことを嘆くのではなく、2学期にやりたいことや楽しみにしていることを考えた方が、前向きな気持ちになれるし、毎日がワクワクするという話をしました。

これは、子どもに限らず大人も同じですね。起きたことを振り返ることは大切ですが、後悔するだけではなく、「では、これからどうするか」を考える。そうすることで前向きな気持ちになり、次への意欲も湧いてきます。

そして、年度初めに示した子どもたちの目標について、改めて確認しました。

「進んで、考えよう・伝え合おう・やり抜こう」

考えよう：どんなに難しく、分からないことがあっても、投げ出さずに、まずは考えること

伝え合おう：自分の考えを互いに伝え合ったり、相談したりすること

やり抜こう：うまくいかなくても、その原因を考え、何度でもあきらめずに挑戦すること

子どもたちは、まだまだ心も体も成長の途中です。ですから、たくさんの失敗をします。

でも、それでいいんです。

失敗したら、「なぜそうなったのか」「次はどうすればよいのか」を考え、自分の考えや気持ちを伝え合って、あきらめずに少しずつ正していけばよいのです。



よくないのは、周りの大人が、大人の尺度でしゃくし定規に白黒をつけ、失敗した子どもを責め立ててしまうことではないでしょうか。

私たち教師を含め、子どもを取り巻く大人たちが、「なぜ失敗したのか」「どうすればその失敗を乗り越えられるのか」を一緒に考え、ときには問いかけながら、子ども自身に考えさせ、気づかせていく。

そうすることで、子どもたちが誰かに答えを与えてもらうのではなく、自分の力でさまざまな失敗を乗り越えていけるようになるのではないかと考えています。

子どもたちはこれからいろいろな失敗をするでしょう。私たち大人も同じです。

失敗したら、某タクシー配車アプリのCMに出てくる竹野内 豊さんのように、

「じゃあ、どうする？」

と考えて、またやってみればいい。

そんなふうに、少し長い2学期を、子どもたちと一緒に前向きに楽しんでいけたらと思います。

保護者の皆さん、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果について

4月23日（木）に第6学年を対象に実施されました全国学力・学習状況調査につきまして、本校の特徴的な結果と今後に向けての改善策をお知らせします。

◇＝正答率が高い設問・肯定的な回答が多い質問 ◆＝正答率が低い設問・肯定的な回答が少ない

<国語>

◇話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる問題

◆考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる問題

◆引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題

◆情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題

<算数>

◇小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる問題

◆体積の意味について理解しているかどうかをみる問題

◆基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる問題

◆二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる問題

<児童質問調査>

◇学校に行くのは楽しいと思いますか。

◇友達関係に満足していますか。

◇人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

◇人が困っているときは、進んで助けていますか。

◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

◇自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

◇朝食を毎日食べていますか（「している」の回答）。

◇学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

◇あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。

◆学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

9月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	火	特5 牛肉についての食育授業(3年)
2	水	特5
3	木	全校集会④ 委員会⑤ SNSのトラブルに係る非行防止教室(5年)
4	金	特5 プール使用終了
5	土	
6	日	市P連母親研修会
7	月	宿泊研修(5年)
8	火	宿泊研修(5年)
9	水	回復日(5年) 百寿大学との交流(3年)午前 ボランティア実習③
10	木	クラブ⑦ 身体測定・視力(4年) ボランティア実習④
11	金	タミー実験(3,4年) 身体測定・視力(2年) 1年絵具セット販売
12	土	<前期評定・評価対象 ここまで>
13	日	
14	月	体力向上週間 身体測定・視力(6年) SC来校6年心理士授業 ボランティア実習⑤ 特支保護者面談①
15	火	一斉下校訓練② 特支保護者面談②
16	水	身体測定・視力(5年) 東明中合唱見学(6年) 特支保護者面談③
17	木	身体測定・視力(3年) クラブ⑧(3年生見学)
18	金	特5 身体測定・視力(1年)
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	クラブ⑨(反省) 特支保護者面談④
25	金	特支保護者面談⑤ 明治食育出前授業(4年)
26	土	
27	日	
28	月	参観日(3・5年)
29	火	参観日(2・6年)
30	水	参観日(1・4年) 通知表配付日(前期終了)

～学校としての取組～

- ☆問題文や図表から必要なことを正しく読み取る部分に課題が見られましたので、読解力を高める取組をすると同時に、引き続き、自分の思いや考えを言語化する機会を増やしていきます。ICTを活用し、互いの思いや考えを交流する機会もつくっていきます。
- ☆学習の終わりに、その時間の学びについて振り返る機会を多くし、学習過程を工夫することで、児童が主体的に学ぶ授業を展開していきます。
- ☆自分の思っていることや感じていることを、安心して言葉で表せるように、これからも落ち着いた学級づくりを目指します。
- ☆それぞれが苦手としている内容については、家庭学習を効果的に活用するよう児童に助言し支えていきます。
- ☆**学びルームに計算習熟プリントを置いて、前学年までの内容などを復習する機会をつくります。**
- ☆**読書をする時間を学校でも確保できるように、2学期からは毎週1回朝の会の前に読書の時間を設けるとともに、授業中の課題が早く終わった後などの時間は、読書をするよう指導していきます。**
- ☆電子機器の使用の仕方を含めた望ましい学習習慣と生活習慣の確立に向けた取組を例年行っていますが、今年度も継続して行っています。

【その他】

次の資料は児童質問紙の全国分析結果です（出典：文部科学省・国立教育政策研究所より）。全国的な傾向が示されていますが、本校の児童も同様の傾向がありましたのでお知らせいたします。

